

愛媛県立新居浜病院ニュース

平成25年1月号 vol. 21



1月号目次

P1



- 新年のご挨拶
- 救急患者の受入について

P2

P3

- イベントニュース

本院60周年・東予救命救急センター20周年記念行事 他

P4

- 2病棟紹介



P5

- 栄養部紹介

P6

- 外来各科診療予定表

新年のご挨拶



愛媛県立新居浜病院
院長 酒井 堅

明けましておめでとうございます。

本年も県立新居浜病院をよろしくお願ひ申し上げます。

平成24年もいろいろ大きな出来事がありました。山中伸弥教授のiPS細胞でのノーベル賞受賞は明るい話題でした。また年末には総選挙で年が暮れました。皆様にとりましてはどのような一年でありましたでしょうか？

さて、当院は今年1月、本院開設60年を迎えます。昭和28年1月愛媛県立新居浜療養所として産声を上げ、幾多の変遷を重ねて現在の愛媛県立新居浜病院が出来てまいりました。今後とも、地域にとって必要とされる病院、安心・安全な医療を提供できる病院を目指し、職員一同日々努力を惜しまず頑張っております。

新年に当たって考えることは、やはり健康で過ごせることの幸せであります。だれも病気になりたいと願う人はいません。健康で過ごせる基本は、やはり食事・運動・睡眠ではないでしょうか。日々生活に追われる中で、気にしながらも出来てないのが生活習慣の改善です。しかし、医療がどんなに進歩しても健康に関する基本は変わることがありません。今年一年、生活の質に目を向けるというのはいかがでしょうか。もし、健康を害するようなことがあれば、県立新居浜病院が皆様に寄り添って健康を取り戻せるお手伝いをさせていただきます。

どうかこの一年、皆様が健康で健やかに過ごすことが出来ますようお祈り申し上げます。

救急患者の受入について(お知らせ)

当院の救命救急センター改修及び手術室増築工事による停電に伴い、下記の日時については、救急患者(新生児を除く)の受入ができませんので、お知らせいたします。誠に恐縮ですが、御理解・御協力をお願いいたします。

【救急患者の受入中止日時】

平成25年 1月13日(日) 午前8時～午後5時の間、 1月20日(日) 午前8時～午後5時の間、
2月10日(日) 午前8時～午後4時の間



イベントニュース

9月8日



酒井院長



三好公営企業管理者



神野県保健福祉部長



明比県議会副議長



檜垣愛媛大学医学部附属病院院長
愛媛大学大学院病態情報内科学教授

平成 24 年 9 月 8 日(土)、リーガロイヤルホテル新居浜において、県立新居浜病院本院開設 60 周年及び東予救命救急センター開設 20 周年記念行事並びに第 6 回地域医療連携交流会を開催しました。

愛媛大学医学部附属病院院長 檜垣實男先生に「愛媛の愛を守ろうー生活習慣病の予防と治療ー」と題し、記念講演をしていただきました。

記念講演



長年支援していただいている団体個人に感謝状を贈呈しました。



佐々木前新居浜市長



大橋新居浜市医師会長



藤田新居浜市議会議長



俊野東予地方局長



武田救命救急センター長



菊地事務局長

10月16日



今年も地元の本郷太鼓台が来てくれました。元気を分けていただきました。

11月12日～11月30日



東城看護専門学校(とうじょうかんごせんもんがっこう)の学生さんが、病棟及び外来で実習をされました。お疲れ様です。

11月21日



愛媛大学医学部(えひめだいがくいがくぶ)の学生さんが、見学にられました。皆さん、熱心に先輩医師の説明を聞いています。次世代の地域医療を担っていただきたいと思います。

12月13日



職員によるクリスマスコンサートが開催されました。ハンドベルの清らかな音色、バイオリン、ホルン、ピアノの美しい旋律、バンド演奏の熱いビートを楽しみました。

2病棟・病棟紹介

2病棟スタッフ

- 脳外科医師 3名
- 耳鼻科医師 1名
- 看護師 16名
- 看護助手 1名



主な診療内容

- 耳鼻科** 扁桃摘出術、鼻茸切除術、声帯ポリープ切除術など手術を受ける患者さんが多く、小児から成人を対象にクリニカルパスを活用し、術後合併症予防、痛みによる苦痛の緩和を行っています。
- 脳外科** 脳血管障害の急性期治療（手術・保存的治療）を受ける患者さんが多く、合併症及び再発の予防と機能回復をめざした急性期リハビリテーションを行っています。

病棟活動

◇患者さんの満足に向けた退院支援

突然、病気になることにより、生活方法を変えることが必要になる患者さんとご家族は、入院とともに退院後の生活の準備に取りかかります。私たちは、病状や今後の生活への不安な気持ちに寄り添い、個人個人の希望に合わせた情報提供をすることで、退院後の生活に必要なものを選択できるよう地域連携室とスタッフが協力して支援しています。

退院後、病棟を訪問してくれる患者さんの笑顔と回復した姿が私たちの支えになっています。

◇嚥下障害のある患者さんへの回復支援

脳血管障害により意識や飲み込む機能が障害され、食べるができなくなった患者さんは、毎日の口腔ケアをとおして意識、飲み込む機能の変化を見極め、安全に食べるために飲み込む機能の評価とリハビリテーションを行います。飲み込む機能の評価は、耳鼻科医師がベッドサイドで喉頭内視鏡によるフードテストを行います。今年度、この評価を受け経管栄養から経口摂取を開始できた患者さんは85%です。

フードテストで食べる事ができた時、「おいしい」「食べたい」という言葉かけにうなずき、涙ぐむ患者さんにスタッフは拍手し、「再び食べる」ことを共に喜びます。

私たちは、発症したその日から食べることや身体の動かし方、一つ一つ意識して行い、再び動作を身につけていく患者さんの日々の努力に目を向け、患者さんが回復を実感でき、次に向かう力がわき起こるよう援助していきます。



🍎 栄養部とは

病院食の提供、病態栄養管理業務、栄養指導業務、他職種連携業務などをおこなっております。

🍆 入院患者様のお食事

食事療法といわれるように食事は病気を治す上でとても大切です。

栄養部では、栄養バランスのよい食事を、温冷配膳車を使用して、温かい料理は温かく、冷たい料理は冷たく患者様お一人お一人に合わせたお食事を提供できるように努めています。



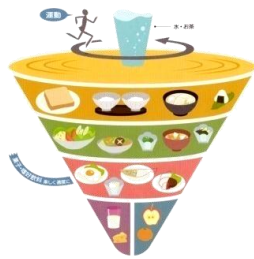
🍓 主食・主菜・副菜をそろえてバランス良く食べましょう 🍓

🍃 栄養食事指導

適度な運動

バランスの
良い食事

菓子・ジュース
などは控えめに



外来・入院患者様を対象に医師の指示に基づき、管理栄養士が患者様のライフスタイルや食習慣にあわせてアドバイスいたします。

また、入院中は管理栄養士が病室に訪問し、食事内容の説明や食事のアドバイスをいたします。

【実施日時】

月曜日から金曜日 午前9時～午後5時まで

★ 予約制になっておりますので、栄養指導を希望される方は主治医にご相談ください。

🥕 チーム医療への参画

「NST（栄養サポートチーム）」「褥瘡対策チーム」「緩和ケアチーム」「糖尿病教室」「心臓リハビリテーション学習会」などのメンバーとして活動しております。

🍪 給食委託業者：日清医療食品 … 食事提供に携わって

私たち日清医療食品は平成23年4月より、県立新居浜病院でのお食事提供に携わらせていただいております。

病院においてのお食事は、日常生活の一部というだけでなく、患者様の毎日の楽しみという役割も担っています。

病種の対応はもちろんですが、出産後にはお祝い膳やワゴンサービスでのデザート提供、

また、お誕生日の患者様には、バースデーカードの配布を行っております。患者様からのアンケートやお手紙などでもご好評との声を頂き、更に頑張ろうという励みになっております。今後も、栄養部の皆様と連携しながら

効果的なお食事提供を目指していきます。

☆祝出産☆

デザート提供でお祝
いしています♪

